

令和5年7月1日現在

[法人の概要]

① 団体名	公益財団法人栃木県産業振興センター					
② 設立年月日	昭和47年4月20日	③代表者 理事長 辻 真夫				
④ 所在地等	宇都宮市ゆいの杜1-5-40		電話 028-670-2600			
⑤ 設立目的 事業内容	創業や新分野展開などの新事業創出を促進するための事業、中小企業の経営基盤を強化するための事業、高度技術の開発及び利用を促進するための事業を行い、もって県内の産業振興、経済発展に寄与することを目的とする。					
⑥ 基本財産 (資本)	総額 15,000千円 (内訳) 栃木県出資額 5,000千円 (33.3%)					
⑦ 役職員数	県OB	県派遣	県現職	他団体等	専任	合計
理事	4		1	4		9
常勤	2					2
非常勤	2		1	4		7
監事	1			1		2
常勤						0
非常勤	1			1		2
職員	2	3		2	44	51
常勤	2	3		2	13	20
非常勤					31	31
臨時						0
⑧ 常勤職員の 年齢構成	~20代	30代	40代	50代	60代~	平均年齢
	1	8	5	4	2	44.35歳

〈 (公財) 栃木県産業振興センター から県民のみなさまへ 〉

当センターは、県内の産業振興、経済発展に寄与するため、社会経済環境の変化等を踏まえ、経済界、産業界、学術研究機関及び行政機関などとのネットワークのもとに、企業の創業から研究開発・事業化・経営革新まで、県内中小企業・小規模事業者の視点・実情に応じた積極的な事業を、各支援機関と連携して実施し、中核的支援機関としての役割を担って参ります。

令和5年7月 理事長 辻 真夫

[情報公開]

HP	URL : https://www.tochigi-iin.or.jp/
その他 (情報誌・SNS)	・情報誌：産業情報とちぎ ・Facebook ・メールマガジン

[監査等結果]

名称	実施年月日	結果
公益法人立入検査	令和3年12月17日	適正
独立監査人による監査	令和5年5月26日	適正
監事による監査	令和5年5月30日	適正

[その他特記事項]

(市町その他との連携・業務効率化のためのICT利活用など)
産学官金39機関で構成されるとちぎ産業振興ネットワークの中核的支援機関として連携に努めている。内部の業務効率化については、財務システム・勤怠管理・スケジュール共有ソフトを利活用しICT化を図っている。

[主な事業の事業費・概要等] (千円、%)

事業名	R3	R4	事業概要
事業1 中小企業・小規模事業者 ワンストップ総合支援事業	82,264 15.2	84,859 15.6	専門コーディネーターを配置して中小企業等からの相談に対応し課題解決を図る。
事業2 AIセンター運営事業	42,747 7.9	46,046 8.4	AI等デジタル技術に関する普及啓発、相談支援、人材育成により企業のデジタル技術導入・利活用を促進する。
事業3 戦略的基盤技術高度化 支援事業	42,187 7.8	32,553 6.0	ものづくり基盤技術の高度化・事業化を目指して企業が取組むプロジェクトに事業管理機関として参画し、円滑な推進を支援する。
全体事業	541,990	545,667	

[財務指標]

		R2	R3	R4
自己資本比率	正味財産合計/資産合計×100	16.1	16.3	17.7
流動比率	流動資産合計/流動負債合計×100	298.2	288.0	293.5
有利子負債依存度	有利子負債/資産合計×100	0.5	0.6	0.5
管理費比率	管理費/経常費用計×100	7.8	7.6	7.0
人件費比率	人件費/経常費用計×100	23.4	24.8	24.9
独立採算度	(経常収益計+経常外収益計-県からの補助金収入)/(経常費用計+経常外費用計)×100	70.3	67.6	71.3

[収支決算書 (令和4年4月1日から令和5年3月31日まで)]

(単位:円)

収入の部		支出の部	
経常収益	546,783,873	経常費用	545,667,457
基本財産運用益	90,000	事業費	507,400,729
特定資産運用益	34,866,075	管理費	38,266,728
受取会費	5,443,625	経常外費用	0
事業収益	0		
受取補助金等	481,912,081		
受取負担金	23,772,773		
その他	692,840		
受取利息	6,479		
経常外収益	2,795,667		
当期収入合計 (A)	549,579,540	当期支出合計 (C)	545,667,457
前期繰越収支差額	427,362,865	当期収支差額 (A-C)	3,912,083
収入合計 (B)	976,942,405	次期繰越収支差額 (B-C)	431,274,948

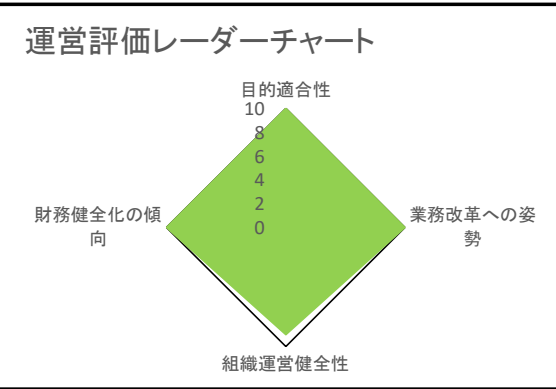
[貸借対照表 (令和5年3月31日現在)]

(単位:円)

資産の部		負債及び正味財産の部	
流動資産	382,132,274	流動負債	130,194,884
固定資産	8,980,382,669	固定負債	7,572,083,146
基本財産	15,000,000		
特定資産	8,209,007,532		
その他固定資産	756,375,137		
		負債合計	7,702,278,030
		指定正味財産	1,228,961,965
		(うち基本財産)	5,000,000
		(うち当期指定正味財産増加額)	57,024,860
		一般正味財産	431,274,948
		(うち基本財産)	10,000,000
		(うち当期一般正味財産増加額)	3,912,083
		正味財産合計	1,660,236,913
資産合計	9,362,514,943	負債及び正味財産合計	9,362,514,943

[評点集計]

評価の視点	評価項目数	評点	満点	得点率
目的適合性	5	10	10	100%
業務改革への姿勢	5	10	10	100%
組織運営健全性	5	9	10	90%
財務健全化の傾向	5	10	10	100%
合計	20	39	40	98%



目的適合性	法人が行っている事業と当初の設立目的が適合しているか
業務改革への姿勢	法人経営の方針や事業の実施目標等を設定し、それらに沿った運営を行っているか等
組織運営健全性	組織、人事、財務等の内部管理体制が適切に整備・運用され、かつ情報公開による透明性の確保が適切か
財務健全化の傾向	法人の財務状況が健全化傾向にあるか

[自己評価]

前年度の法人運営についての自己評価 (振り返り)	<ul style="list-style-type: none"> 自動車部品サプライヤー支援拠点の開設や革新的な技術開発の支援など、カーボンニュートラル実現に向けた新たな事業に取り組み、業界のニーズに対応した。 企業からの経営相談件数は前期を上回り、専門家による経営課題の解決・経営支援を行った。 								
事業実施上の課題 (主に目的適合性・業務改革の姿勢の評価を基に作成)	<ul style="list-style-type: none"> 事業開始後、年数の浅い事業における、利用者の掘り起こし。(例:脱炭素化技術育成支援事業、とちぎグリーン成長産業創出支援事業) 								
組織・財務上の課題 (主に組織運営健全性・財務健全化の傾向の評価を基に作成)	<ul style="list-style-type: none"> 職員の人材育成においては研修による能力開発を行っているが、チームリーダー格の中堅職員が増えてきたことから、次期管理者としての効果的な育成が課題。 会員サービス・封筒広告・バナー広告・情報誌の発送時に企業等の広告を同封するサービスなど収入確保メニューを増やしてきたが、これらの更なる利用者の掘り起こしが課題。 								
県現職派遣の理由、必要性の評価	<ul style="list-style-type: none"> AIの導入やDXの推進、脱炭素を契機としたグリーン成長など、中小企業を取り巻く現下の課題に的確に対応し、県施策の事業成果を上げるため。施策立案に携わる県現職職員が、支援の現場で中小企業の現状・ニーズ・課題等を把握することにつながるため。 								
課題に対する今後の取組の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 中堅職員に対して、管理者研修の受講促進の他、積極的にOJTを活用し、次期管理者としての育成に取組む。 他機関との連携による多角的な周知広報を行い、効果的な利用者の掘り起こしに取組む。 								
得点率の推移	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>得点率</td> <td>98%</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>		R4	R5	R6	得点率	98%	—	—
	R4	R5	R6						
得点率	98%	—	—						

該当法人のみ作成 [継続検討項目に対する取組状況]

継続検討項目	<p>・とちぎ産業交流センターとの統合 とちぎ産業交流センターの機能の取り込みについては、施設の取得や交流センター事業の継続に必要な新たな財源の確保等の課題について、検討を進める。</p> <p>[R4行革委員会報告書（個別法人に対する評価等）] ➤栃木県産業交流センターとの統合については、同センターが区分所有する建物（R2末時価：3億1,600万円）の取得費用及び建物を購入した場合に今後必要となる大規模修繕に要する費用の確保策等の課題について、所管課と協議しながら改めて整理の上、スケジュールを明確に定めた検討を行う必要がある。</p>
法人 とちぎ産業交流センターの機能の取り込みについて、県主管課とワーキンググループを立ち上げ、多角的な視点で課題を抽出し、より具体的にメリット・デメリットの検討を進めていく。	所管部局 栃木県産業振興センターが主体的に運営するワーキンググループが立ち上がったことから、とちぎ産業交流センターの機能の取り込みに係る課題や、法人の自律的な運営のための自主財源の確保や経費縮減策などについて、同センターと連携して検討を行っていく。今年度はWGを3回程度開催し、財務シミュレーションの作成等を進めるとともに、課題の抽出及び整理を進めていく。

該当法人のみ [過去の指摘事項に対する取組状況]

指摘事項	—
法人 —	所管部局 —

[所管部局評価]

政策目標		創業や新事業創出、中小企業の経営基盤強化事業などを通じて、県内の産業振興、経済発展に寄与すること	
県と法人の役割分担	県の役割	センターと連携して中小企業の支援を行うとともに、センターに対して必要な助言等を行う	
	法人に期待する役割	中核支援機関として経済界・産業界・学術機関・行政機関と連携し、県内中小企業等のニーズに沿った支援事業を行う	
財政（千円）支出状況	区分	令和5年度予算額	令和4年度決算額
	補助・交付金	274,651	204,478
	委託料	140,829	129,973
	貸付金	0	0
	その他	0	0
	計	415,480	334,451

指定管理	施設名	管理運営状況評価(R3)				
		A	B	C	D	E
	なし					

締結状況（指定制約）	契約件名	契約締結の方法	指名競争入札又は随意契約とした理由	R4契約金額(千円)	効果測定指標	目標値	実績			効果測定
	とちぎビジネスAIセンター運営事業業務委託	随意契約	随②	52,188	AI又はIoTを導入する事業所の割合(%) (R7時点累計30.0%目標)	8.0 (R3時点)	R2	R3	R4	A
	プロフェッショナル人材戦略拠点業務委託	随意契約	随②	35,429	プロフェッショナル人材との成約件数(件) (R2~4累計目標)	75 (R4時点)	29	55	85	B

主な補助事業の実施状況	事業名	事業概要	R4補助金額(千円)	効果測定指標	目標値	実績			効果測定
	とちぎまるごと創業プロデュース事業	地域課題を解決する社会的事業に係る創業担い手の伴走型支援	49,371	補助事業採択件数(件) (R6時点累計180件目標)	120 (R4時点)	R2	R3	R4	B
	グリーン成長産業創出支援基金設置費補助金	カーボンニュートラル社会実現に資する技術開発の支援	34,000	補助企業数(社) (R12時点累計45件目標)	45 (R12時点)	—	—	6	B

今後の連携・見直し方針	政策目標達成のため今後もセンターと連携・協力していくとともに、特定指導法人の継続課題については、設置したワーキンググループで課題を整理するなど、検討を進めていく。
-------------	---

法人の自己評価に対する意見	<p>・昨年度は、コロナ禍の中で研修事業の参加者増加や新たに国の委託事業を受託するなど収益増につながる取組を行っており、県内中小企業の支援につながったと考える。</p> <p>・引き続き、効果的な企業支援に取り組むための支援体制の強化を図るとともに、自主財源の確保や費用の縮減に努めるほか、産業交流センターの機能の取り込みに向けた財務シミュレーションを行うなど基本方針で示された継続課題項目の検討を着実に進めていくことを期待する。</p>
県が期待する役割の達成	B

[総合評価]

[R4行革委員会報告書（個別法人に対する評価等・継続検討項目以外）]

B	総合的所見	財務について概ね健全化の傾向が認められるが、今後とも効率的な事務執行に努められたい。会員収入も回復傾向にあることから、今後とも会員サービスの向上により、会員数の確保に努められたい。継続検討となっている産業交流センターの機能取り込みについては、設置したワーキンググループにおいて、スケジュールを明確に定めた上で、統合に係る具体的な課題の整理・検討を進められたい。	<p>➤見直し方針に順調に対応してきたが、引き続き会員サービスの拡充を図り、会員数の確保に向けた取組を進めるとともに、自主財源の確保に向けた取組を進める必要がある。</p>
	指摘事項	なし	